

障害者のためのスポーツはありません。 スポーツがあるだけです。

スポーツの心に、障害者と健常者の垣根はないんだ。
日本財団が企画した「東京ふれあいマラソン」は、
そのことを見事に証明してくれました。

- ◎何人もが声をかけてくれ、走りやすかったよ。
- ◎競う人もいるけど、僕は参加するのが目的ですね。
- ◎目標？もちろん車椅子マラソンの世界記録です。
- ◎盲人ランナーの部でなく、一般の部で参加しました。
- ◎60歳を過ぎたけど、若い人に負けると情しいですな。
- ◎車椅子が一般ランナーを追い越すなんて、知らなかったわ。

「東京ふれあいマラソン・神宮外苑ロードレース」は、
スポーツを通して障害者と健常者の交流と
理解を深めるために実施されたものです。

- 車椅子ランナーの部(20km)最高タイム50分50秒
- 一般ランナーの部(10km)最高タイム32分17秒
- 盲人ランナーの部(10km)最高タイム37分42秒

 **日本財団**
The Nippon Foundation

(財)日本船舶振興会の通称です
<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

私たちの補助事業及び支援活動は、モーターボート競走の収益金の一部によってまかなわれています。



第1回「東京ふれあいマラソン」1998.12.18 神宮外苑にて